

ガス給湯器 取扱説明書

商品コード

34-725型
34-726型
34-727型
34-728型
34-729型

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガス給湯器をお買い上げいただき、ありがとうございます。

安全にご使用していただくために、機器を使用する前によく読み、十分に理解したうえで使用してください。

この取扱説明書は、いつでも利用できる場所に大切に保管してください。

別添の保証書は、記載してあるお買い上げ日、販売店名、保証内容などをよく確認し、大切に保管してください。

来客者などが機器を使用するときは、その前に必ず取扱説明書の内容を説明してください。

本書を紛失された場合や、ご不明な点があればお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスにお問い合わせください。



図は34-725型です。

| | |
|---|-----------|
| 型 | YS1637RR |
| 式 | YS1637RTR |
| 名 | YS1637RNR |
| | YS1637RMR |





使いかた



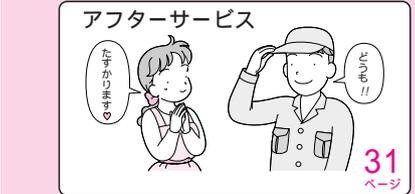
点検・お手入れ・他



この取扱説明書の本文中に出てくる「浴室リモコン」はカタログなどで記載している「シャワーリモコン」と同じものをいいます。

●機器が不都合な場合あるいは、不明な点がある場合は、自分で修理しないで、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。

使用前に



特に注意していただきたいこと・・・1～6

1. 使用前に

- 各部のなまえとはたらき・・・7
- リモコンについて・・・8～9
(台所・浴室・増設リモコン)
- 安全装置について・・・10

2. 使いかた

- はじめてお使いになるときは・・・11～12
 - ・運転前の準備と確認・・・11～12
 - ・現在時刻の合わせかた・・・11～12
- お湯の出しかた・・・13～16
 - ・お湯の出しかた・・・13～14
 - ・優先表示について・・・15
 - ・給湯設定温度の記憶について・・・16
- 湯はりのしかた・・・17～20
- 音声リモコンについて・・・21～22
- 呼び出し音を鳴らしたいとき・・・23
- 凍結予防のしかた・・・24～25

3. 点検・お手入れ、他

- 点検・お手入れ・・・26～27
 - ・点検・・・26
 - ・お手入れ・・・27
- 故障かな?と思ったら・・・28～30
- アフターサービス・・・31
- 仕様・・・32

使用前に

使いかた

点検・お手入れ、他

特に注意していただきたいこと

安全に正しく使用していただくために必ずお読みください。

ここに示した注意事項と絵表示は機器を正しく安全に使用していただき、お客様や他の人々への危険や、財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

誤った取り扱いにより生じる危害・損害の程度をつぎの四つに区分しています。

| | |
|------------|--|
| 危険 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険または、火災が切迫して生じることが想定される内容を示しています。 |
| 警告 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性または、火災が想定される内容を示しています。 |
| 注意 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |
| お願い | 危険・警告・注意の項目以外で特に守っていただきたい内容を示しています。 |

ここでの「人」とは、使用者のみでなく、その家族・来客者・機器を譲渡された人も含みます。危険・警告・注意・お願い表示に於いて、守らなかった場合に起こりうる現象を薄めの文字で表記しています。(例：ガス漏れのおそれがあります。)

注意事項の絵表示と意味はつぎのとおりです。

| 絵表示 | 意味 | 絵表示 | 意味 |
|-----|-------------------|-----|-------------|
| | 特定しない一般的な危険・警告・注意 | | 特定しない一般的な禁止 |
| | 感電注意 | | 火気禁止 |
| | 高温注意 | | 接触禁止 |
| | 発火注意 | | ぬれ手禁止 |
| | 必ず行う | | 分解禁止 |
| | アース必要 | | |

危険

ガス漏れ時の処置

- ① すぐに使用をやめ、機器のガス栓を閉じる。
- ② 販売店または、もよりの大阪ガスに連絡する。

●上記①～②の処置が終わるまで絶対に火をつけたり、電気器具(換気扇など)のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しおよび周辺の電話は使用しない。

火や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。

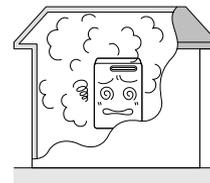


危険

屋内設置の禁止

- この機器は屋外設置形のため、屋内(浴室を含む)には絶対に設置しない。

不完全燃焼により、一酸化炭素中毒のおそれがあります。



警告

使用ガス・電源について

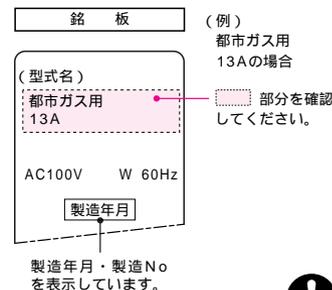
- 必ず銘板(機器前面に貼付)に表示しているガスの種類(ガスグループ)を使用する。

表示以外のガスで使用すると爆発点火や異常燃焼などの原因になります。

- 電源は、AC100V・60Hzを使用する。

他の電源で使用すると火災や感電などのおそれがあります。

- 転居された場合にも、供給ガスの種類、電源の種類が銘板の表示と一致しているか確認してください。



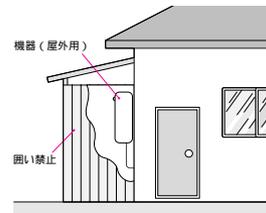
わからない場合は、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡する。



囲いなどの禁止

- 機器設置後、増改築などにより屋内状態にしない。また、波板などによって囲いをしない。

火災・一酸化炭素中毒のおそれがあります。

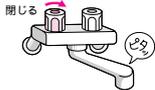


警告

異常時・緊急時の処置

- 使用中に異常燃焼、異常音、臭気など感じられたときや地震、火災などの緊急の場合は、下記①～③の手順に従ってあわてずすみやかに処置し、すぐにお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡する。

①給湯栓を閉じる。



②リモコンの運転スイッチを『切』にする。



③ガス栓、給水元栓を閉じる。



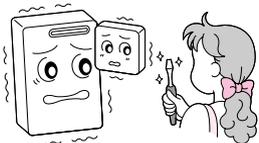
火災・一酸化炭素中毒のおそれがあります。

分解禁止

- 修理技術者以外の人は絶対に機器やリモコンを分解したり、修理・改造を行わない。
異常作動し、けがや思わぬ事故の原因になります。



分解禁止



機器の設置・移動工事について

- 機器の設置・移動および付帯工事は、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに依頼し、安全な位置に正しく設置して使用する。
火災や思わぬ事故の原因になります。

やけどに注意

- シャワーなどお湯を使用する場合は、まず手のひらでお湯の温度を確かめてから使用する。



- 入浴の際は、手でお湯の温度を確かめてから入浴する。



- シャワーなど使用中は、使用者以外はお湯の温度を変更しない。
やけどのおそれがあります。



禁止



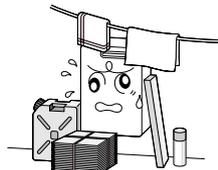
火災の予防

- 機器の周辺や排気トップ周辺に燃えやすい物（洗濯物・新聞紙・木材・スプレー缶・灯油など）を置かない。

火災・爆発のおそれがあります。



発火注意



- 機器の周辺でスプレー・ベンジン・ガソリンなど引火のおそれのあるものを使用しない。

火災・爆発のおそれがあります。



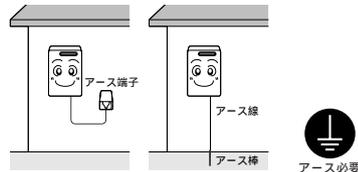
禁止



注意

アースの確認

- この機器はアースが必要のため、アースされているか確認する。
機器が故障した場合、感電のおそれがあります。



用途について

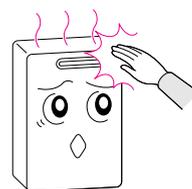
- 給湯、シャワー以外の用途には使用しない。
思わぬ事故の原因になります。

やけどに注意

- 使用中、使用後は排気筒や排気トップ周辺が高温になっているため、さわったりしない。
やけどのおそれがあります。



接触禁止



電源コード・プラグについて

- 電源コードを加工したり、無理な力を加えない。
感電やショート発火による火災のおそれがあります。



感電注意



- 電源プラグの差し込みは確実に行う。
差し込みがゆるいと感電や火災のおそれがあります。



確実に

- 濡れた手で電源プラグをさわらない。
感電のおそれがあります。



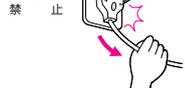
禁止



- 電源コードを引っばって電源プラグを抜かない。
電源コードが断線し、発熱や発火の原因になります。



禁止



- 電源プラグはほこりをふき取る。
発火の原因になります。



ふき取る

お願い

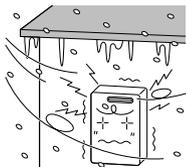
リモコンについて

- リモコンは子どもがいたずらしないよう注意してください。
急な温度変化や熱湯でやけどのおそれがあります。
- リモコンには水をかけないでください。
浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけると故障の原因になります。



凍結に注意

- 冬期は凍結による機器の破損を予防するため、必要な処置を行ってください。
(24～25ページ参照)
凍結すると水漏れや故障の原因になります。



市販の補助具について

- この機器専用の付属品あるいは指定の別売部品以外は使用しないでください。
思わぬ事故の原因になります。
- 給湯栓の先端に泡沫水栓が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルターを掃除してください。

飲用に使用するときは

- 朝一番のお湯など、長時間使用されなかった後の配管中のお湯(洗面器一杯程度)は念のため雑用水として使用してください。
その後、飲用や調理用に使用してください。

断水時の処置

- 断水時は給湯栓を閉じ、リモコンの運転スイッチを「切」にしてください。
- 再通水したときは、11ページからの『使いかた』に従って操作してください。

運転停止時の注意

- 燃焼中にガス栓を操作しての消火および電源プラグをコンセントから抜いての消火はしないでください。

点火・消火の確認

- 使用時の点火、使用後の消火を確認してください。

長期間使用しない場合

- 長期間使用しない場合、凍結および万一のガス漏れを予防するためガス栓を閉じ、水抜きを行ってください。
(25ページ参照)



排気ガスについて

- 増改築などにより、排気ガスが直接建物の外壁や窓(線入、網入板ガラス)、アルミサッシなどに当たらないようにしてください。
ガラスが割れたり、変色する原因になります。

定期点検について

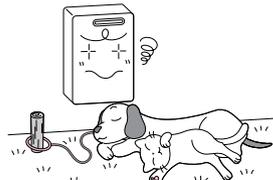
- 機器を安心して、より長く使用していただくために、2～3年に1回程度の定期点検をおすすめします。(有料)

お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに相談してください。

お願い

機器の周囲について

- 機器の周囲に犬などのペットをつながないでください。
ペットの毛などが機器内に詰まり、不完全燃焼の原因になります。



日常の点検・お手入れについて

- お手入れは手袋などで指先を保護し、機器が十分冷えてから行ってください。
(26～27ページ参照)
- 浴そう、洗面台はこまめに掃除してください。
湯アカが残っていると、水中に含まれるわずかな銅イオンと石けんなどに含まれる脂肪酸とが反応して青く変色することがあります。
- リモコンを掃除するときは、ベンジンや油脂系の洗剤は使用しないでください。
リモコンが変形する場合があります。

停電時の処置

- 停電すると自動的にガスが止まり、燃焼が停止します。
- 再通電してもすべてのスイッチは「切」の状態になっています。11ページからの『使いかた』に従って操作してください。
- 湯はりに中に停電すると止水しません。すぐに給湯栓を閉じてください。(再出湯したときは20ページの止水解除操作を行ってください。)

この機器は一般家庭用です

- 業務用のような使いかたをすると機器の寿命が著しく短くなります。この場合の修理は、保証期間内でも有料となります。

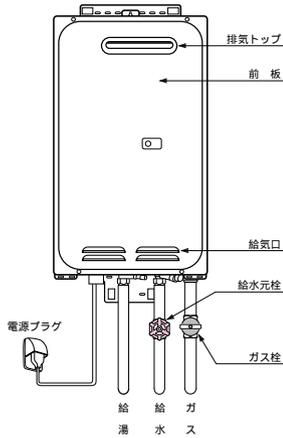
積雪時における注意

- 積雪時には排気トップ・給気口の点検、除雪を行ってください。
排気トップ・給気口がふさがれると不完全燃焼の原因になります。
- 積雪や屋根からの落雪により排気トップが倒れたり、傾いたりしている場合は、落雪対策が必要です。お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。

各部のなまえとはたらき

機器本体

屋外壁掛設置形
34-725型



バリエーション

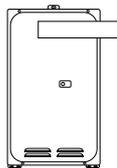
PS標準設置形
34-726型



PS扉内設置
前方排気延長形
34-727型



アルコーブ設置形
34-728型



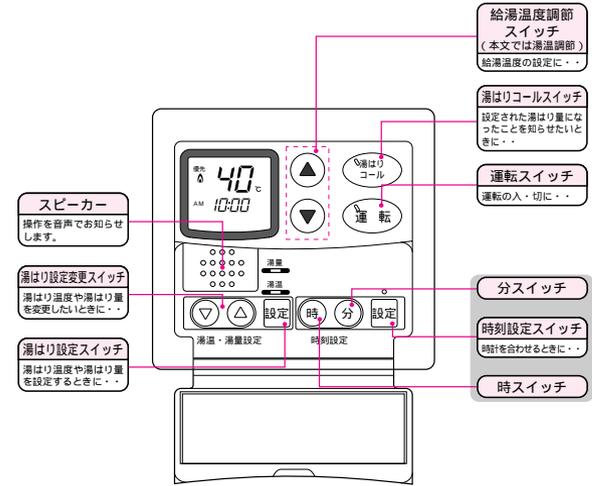
PS扉内設置
後方排気延長形
34-729型



PSとは、パイプシャフトの略です。

リモコンについて

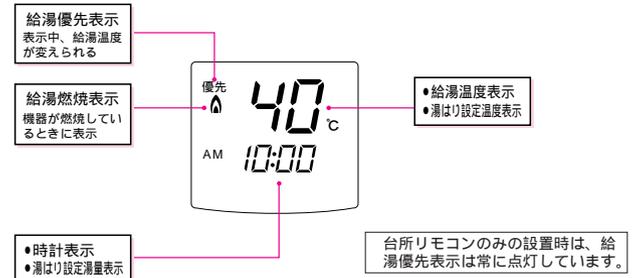
台所リモコン (このリモコンは音声でお知らせします。)



表示画面

[例] 給湯設定温度40℃、時刻AM10:00のとき

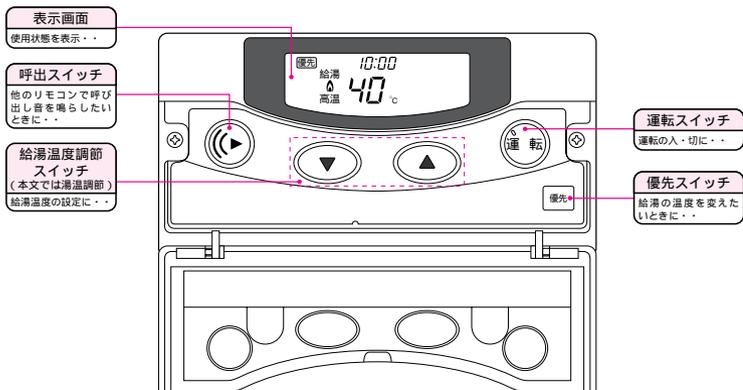
使用状態により、表示は異なります。



リモコンについて

浴室リモコン・増設リモコン [別売部品]

音声機能はありません。

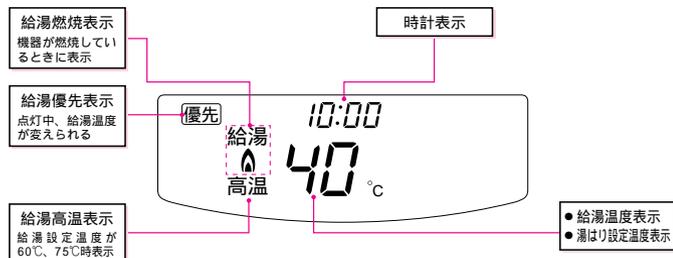


浴室リモコンを使えば浴室で給湯シャワー温度を変えることができます。増設リモコンを使えば洗面所などで給湯温度を変えることができます。

表示画面

[例] 給湯設定温度40℃、時刻AM10:00のとき

使用状態により、表示は異なります。



安全装置について

安全装置の種類とはたらき

この機器には7つの安全装置が組み込まれています。安全装置の役割、はたらきなどは下記の通りです。

| 安全装置 | 作動理由 | はたらき (現象) | 処置方法 |
|----------|-----------------------|--|--|
| 立消え安全装置 | 使用中にバーナーの炎が消えたとき | 自動的にガスを止めます。 | 給湯栓を一度閉じて機器のガス栓が全開であることを確認し、使用してください。 |
| 過昇温安全装置 | 湯温が95℃以上になったとき | 自動的にガスを止めます。 | 給湯栓を一度閉じて機器の給水元栓が全開であることを確認し、使用してください。 |
| 残火安全装置 | 機器内の熱交換器が異常な温度上昇をしたとき | 自動的にガスを止めます。 | すぐに使用をやめてガス栓を閉じてからお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。 |
| 過熱防止装置 | 機器内の温度が異常に高くなったとき | 自動的にガスを止めます。 (機器が使用できなくなります。) | 電源プラグを一度抜き差し(機器用屋内ブレーカーを「切」「入」)してから使用してください。 |
| 漏電安全装置 | 漏電したとき | 機器が使用できなくなります。 | 特に処置は必要ありませんが、特に冷え込みが厳しいときは、凍結予防のしかたもご覧ください。 |
| 凍結予防装置 | 気温が下がってきたとき | 機器内に組込まれたヒーターが作動し凍結を予防します。 | 床面をぬらししますので不都合が生じるときは排水処理が必要です。お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに相談してください。 |
| 過圧防止安全装置 | 機器内の水圧が異常に高くなったとき | 機器の逃し弁より圧力を逃すためお湯が出ます。給湯栓を閉じた後にお湯が出ることがあります。 | |

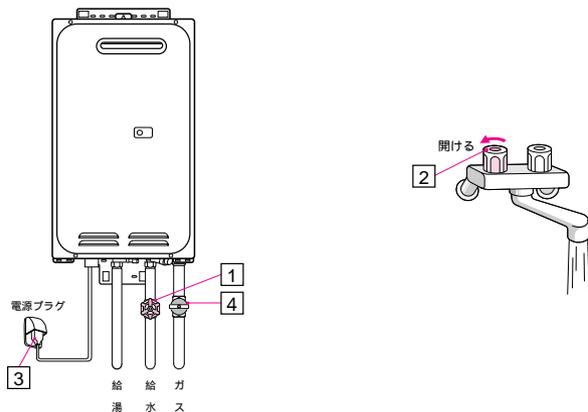
処置方法の手順後に再度同じ現象が起きたときは、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。

はじめてお使いになるときは

 マークはリモコンからの音声を示します。

運転前の準備と確認

1 ~ 4 の手順で行ってください。



1 給水元栓の開栓

給水元栓を全開にする。

2 出水の確認

台所または洗面所などの給湯栓を開け、水の出ることを確認する。
出水の確認後は、給湯栓を閉じる。

3 電源の投入

電源プラグをコンセントに差し込む。
機器周囲に電源プラグがない場合は、
機器用屋内ブレーカーのスイッチを
「入」にする。

4 ガス栓の開栓

ガス栓を全開にする。



⚠ 注意

- ぬれた手で電源プラグをさわらない。
感電のおそれがあります。



現在時刻の合わせかた（台所リモコンで時刻設定操作をします。）

台所リモコン

浴室リモコン・増設リモコン

時刻設定操作
はできません

台所リモコンで設定すると浴室・
増設リモコンも設定されます。

1 設定スイッチを押す

点滅  設定 (押す)

 『時刻が変更できます』

AM 12:00

2 時・分スイッチを押す

時 分 (押す)

 『時刻が変更されました』

AM 10:00

現在時刻に

約10秒後ランプが消えて
時刻を刻み始めます。



- 運転スイッチON状態とOFF状態で表示は異なります。
本ページは運転スイッチOFF状態で表示しています。
- 設定スイッチを押した後、約10秒以内に「時・分スイッチ」を押さないと自動的に時刻を刻み始めます。
- 初めて設定スイッチを押したときは、AM12:00が表示されます。
- 時刻設定をする場合は午前（AM）と午後（PM）を間違えないように設定してください。

お湯の出しかた

 マークはリモコンからの音声を示します。

警告

- 給湯およびシャワーを使用するときは、いきなり体や顔にかけずに手で湯の温度確かめてから使用する。
やけどのおそれがあります。



確認



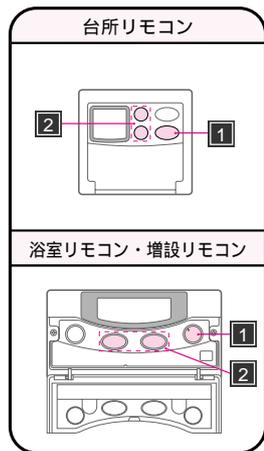
- シャワーなど使用中は、使用者以外は湯の温度を変更しない。
- お湯を体に浴びたまま湯の温度を変えない。
やけどのおそれがあります。



禁止



1 ~ 4 の手順で行ってください。



1 運転スイッチを押す



表示は台所リモコンの例です。表示は、「点灯」「消灯」する部分のみ記載しています。



すでに運転スイッチを押している場合は、この操作は必要ありません。

ワンポイントアドバイス

お湯の量を絞りすぎたときや水温が30℃に近いときおよび、ソーラシステムと接続しているときは、設定温度を低くしても実際の設定温度よりお湯が高くなる場合があります。
このようなときは、給湯栓を開けて湯量を増やすか、水と混ぜて使用してください。



2 湯温調節スイッチを押す



 『給湯温度が変更されました』



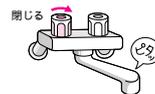
3 お湯を出す

給湯栓を開ける。



4 お湯を止める

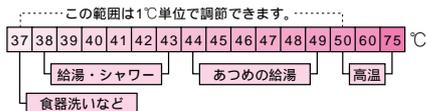
給湯栓を閉じる。



- 優先表示が点灯していることを確認してください。消灯している場合は15ページの（優先表示の切り替えかた）に従い、使用するリモコンを優先にしてください。

給湯設定温度について

はじめて使用するとき
給湯温度は40℃に設定されています。
給湯温度のめやす

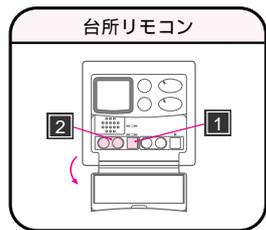


- 表示されている温度は、設定温度で実際のお湯の温度とは、配管条件などにより、多少異なりますので、めやすとしてください。
- 給湯温度75℃設定のときは、運転スイッチを「切」にすると、再度「入」にしたとき、安全のため60℃設定に変わり、音声「あつい温度に設定されました。注意してください。」でお知らせします。
- 「▲」スイッチを押し続けると50℃まで連続で変わります。60℃、75℃にするときは、もう一度押してください。
- 60℃、75℃に設定すると、音声で「あつい温度に設定されました。注意してください。」とお知らせします。

湯はりのしかた

 マークはリモコンからの音声を示します。

湯はり温度の合わせかた



1 設定スイッチを1回押す

点減 湯温
設定 押す

 『お湯はり温度が変更できます』

湯はり温度を表示します。 42℃
10

- 運転スイッチON状態とOFF状態で表示は異なります。本ページは運転スイッチOFF状態で表示しています。
- 設定スイッチを1回押した後、約10秒以内に「湯はり設定変更スイッチ」を押さないと自動的に表示されている温度に設定されます。
- はじめてお使いになるときは、42℃が表示されます。

2 湯はり温度の設定

湯はり設定変更スイッチで湯はり温度の設定をする。

押す   押す

 『お湯はり温度が変更されました』

ご希望の湯はり温度に 43℃
10

湯温を変えたいときは、湯はり設定変更スイッチを10秒以内に押してください。

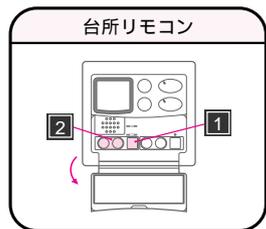
湯はり温度について

はじめて使用するとき湯はり温度は42℃に設定されています。

| | | | | | | | | | | | |
|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|----|-----|
| 37 | 38 | 39 | 40 | 41 | 42 | 43 | 44 | 45 | 46 | 47 | 48 |
| ぬるめ | | | | | | | | | ふつう | | あつめ |

- 表示されている温度は設定温度で実際の湯はり温度とは、浴そうの種類や配管条件などにより、多少異なりますのでめやすとしてください。
- 一度、湯はり温度を設定すると記憶します。ただし停電後は42℃設定にもどります。

湯はり量の合わせかた



1 設定スイッチを2回押す

点減 湯量
湯温
設定 押す

 『お湯はり湯量が変わります』

43℃
10 湯はり量が変わります。

- 運転スイッチON状態とOFF状態で表示は異なります。本ページは運転スイッチOFF状態で表示しています。
- 設定スイッチを2回押した後、約10秒以内に「湯はり設定変更スイッチ」を押さないと自動的に表示されている湯はり量に設定されます。
- はじめて設定スイッチを2回押したときは、10ℓが表示されます。

2 湯はり量の設定

湯はり設定変更スイッチで湯はり量の設定をする。

押す   押す

 『お湯はり湯量が変わりました』

ご希望の湯はり量に 43℃
160

湯はり量を変えたいときは、湯はり設定変更スイッチを10秒以内に押してください。

湯はり量について

はじめて使用されるとき湯はり量は10ℓに設定されています。

| 浴そう | 1人用 | 1.5人用 | 2人用 |
|--------|-------|-------|-------|
| 湯量のめやす | 約160ℓ | 約190ℓ | 約240ℓ |

- 湯はり量は10ℓ～630ℓまでの設定ができます。
- 湯はり設定変更スイッチを1回押すごとにまた押し続けると10ℓずつ設定湯量が変わります。「△」スイッチは630ℓまで、「▽」スイッチは10ℓまでしか表示できません。
- 表示されている湯量はめやすとして使用してください。
- 一度、湯はり量を設定すると記憶します。

湯はりのしかた

 マークはリモコンからの音声を示します。

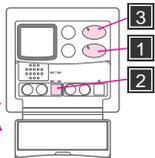
湯はりのしかた

浴そうの確認

- 浴そうの排水栓を閉じる



台所リモコン



警告

- 夏場など水温が高い場合、設定温度よりも高い温度のお湯が浴そうにはられる場合があるため、湯はり中や入浴前には必ずお湯の温度を確かめてから入浴する。**やけどのおそれがあります。**

1 運転スイッチを押す



すでに運転スイッチを押している場合は、この操作は必要ありません。

2 湯はり温度・湯はり量の確認

設定スイッチを1回押す。



数秒後、表示は消えます。

ワンポイントアドバイス

- 「湯はりコール」使用中でも湯はり温度は変更することができます。17～18ページ「湯はり温度の合わせかた」に従って操作してください。
- 「湯はりコール」使用中、他の給湯栓を使用したりすると湯はり量が少なくなります。
- 「湯はりコール」使用中は浴室リモコン・増設リモコンに優先切替できません。
- 「湯はりコール」使用中は、湯温調節スイッチでの給湯設定温度変更はできません。
- 浴室リモコン・増設リモコン優先時に湯はりコールスイッチを押すと、自動的に優先表示が台所リモコンに切り替わります。
- 湯はりコールスイッチを押すと常に湯はり温度が最優先となります。
- 湯はりコールスイッチを押したあとの給湯設定温度は自動的に湯はり設定温度と同じ温度に変わります。

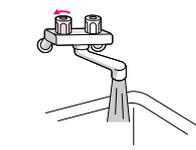
3 湯はりコールスイッチを押す



湯はり量は約10秒間表示し、自動的に時刻表示にもどります。

湯はりコールスイッチを押すと設定温度は37～48℃となります。

4 給湯栓を開く



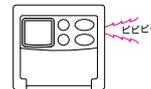
- 湯はり運転中は給湯栓を開けないでください。設定された湯はり量よりも湯量が増え、浴そうからお湯があふれる場合があります。

湯はり完了！

設定した湯量になると止水します。

- 湯はりが完了するとアラームと音声でお知らせします。(湯はりコールランプ点滅)

(アラームと音声は3分おきに鳴り続けます。(10回繰り返し返します。))



湯はりが完了後の音声が、1回目「お湯はりが終わりました。お湯の蛇口を開けて、湯はりコールスイッチを押してください。」2回目以降「蛇口が開いていませんか？一度すべての蛇口を開けてください。」で、お知らせします。

5 止水解除

- 湯はりが完了したら、必ず下記の方法で止水解除してください。

止水解除をしなければ給湯栓を開いても水は出ません。

止水解除方法

- ①全ての給湯栓を閉じてください。
- ②湯はりコールスイッチを押すか運転スイッチを一旦「切」にし、再度「入」にしてください。

湯はりコールランプ消灯。

湯はりランプ消灯後、約15秒間は給湯栓を開けないでください。止水解除されなくなります。給湯栓を開けた場合は上記①、②に従い、再度止水解除を行ってください。

サーモミキシング式給湯栓を使用している場合

- 湯はり時は必ず湯温調節レバーを『H』または『高』の位置までまわして使用してください。

中間の位置で使用すると湯はり止水しても水が止まらず、浴そうからお湯があふれる場合があります。

湯はり完了後すぐに給湯栓を閉じ、湯温調節レバーをシャワー温度(約40℃)の位置に戻してください。

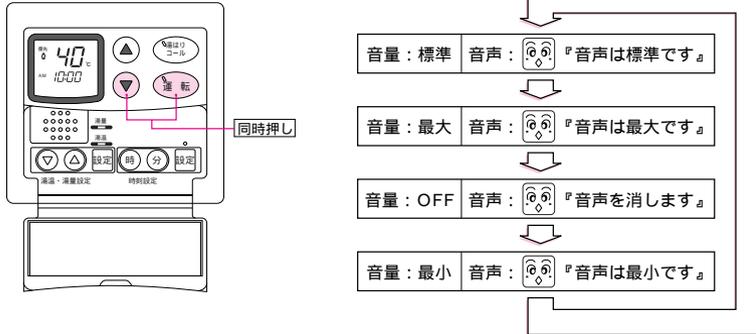
音声リモコンについて

 マークはリモコンからの音声を示します。

音声音量の変更について

- リモコン出荷時の音量は「標準」に設定されています。音量を変更したい場合は下記の要領で行ってください。

 +  を同時に3秒以上押し続ける。



の順で切り替わります。

音声の種類

| | 音声の種類 | どのようなとき |
|---|--|--|
| 1 |  『ふたを開け、時刻、ふる湯量、ふる温度をセットしてください』 | ●電源コードを抜いて、再び差し込んだとき ●停電が復帰したとき |
| 2 |  『お湯はりの準備ができました。お風呂の栓をして、お湯の蛇口を開いてください』 | ●湯はりコールスイッチを押したとき |
| 3 |  『お湯はりが終わりました。お湯の蛇口を開めて、湯はりコールスイッチを押してください』 | ●湯はり運転が終了したとき(1回目) |
| 4 |  『蛇口が開いていませんか？一度すべての蛇口を開めてください』 | ●湯はり運転が終了したとき(2回目以降の報知) ●止水解除されなかったとき |
| 5 |  『お湯はりを中止しました。蛇口が開いていませんか？一度すべての蛇口を開めてください』 | ●湯はり運転中にエラーが発生し、止水したとき ●湯はり運転中に再度湯はりコールスイッチを押したとき ●湯はり運転中に運転スイッチを押したとき |
| 6 |  『運転を中止しました』 | ●給湯運転中にエラーが発生したとき |
| 7 |  『お湯はりを中止しました』 | ●湯はりコールスイッチを押した後、給湯栓を開けるまでに再度湯はりコールスイッチを押したとき |
| 8 |  『時刻が変更できます』 | ●現在時刻を設定(変更)するとき |

| | 音声の種類 | どのようなとき |
|----|--|----------------------------|
| 9 |  『時刻が変更されました』 | ●現在時刻を設定(変更)したとき |
| 10 |  『給湯温度が変更できません』 | ●台所リモコンに優先切り替えを行ったとき |
| 11 |  『給湯温度が変更されました』 | ●台所リモコンで給湯設定温度を設定(変更)したとき |
| 12 |  『お湯はり湯量が変更できません』 | ●湯はり量を設定(変更)するとき |
| 13 |  『お湯はり湯量が変更されました』 | ●湯はり量を設定(変更)したとき |
| 14 |  『お湯はり温度が変更できません』 | ●湯はり温度を設定(変更)するとき |
| 15 |  『お湯はり温度が変更されました』 | ●湯はり温度を設定(変更)したとき |
| 16 |  『あつい温度に設定されました。注意してください』 | ●給湯設定温度が60℃、75℃に設定(変更)したとき |
| 17 |  『音量は最小です』 | ●音声音量を最小にしたとき |
| 18 |  『音量は標準です』 | ●音声音量を標準にしたとき |
| 19 |  『音量は最大です』 | ●音声音量を最大にしたとき |
| 20 |  『音声を消します』 | ●音声音量をOFFにしたとき |
| 21 |  『点検を依頼してください』 | ●"99"エラーが発生したとき |

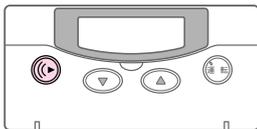
印に關しては音量をOFFにしていなくても聞こえます。

呼び出し音を鳴らしたいとき

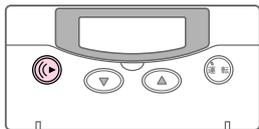
浴室リモコン(別売部品)または、増設リモコン(別売部品)を使用されているときのみ、人を呼ぶ必要が生じたときなどに声を出さずに知らせることができます。

1 浴室リモコンまたは増設リモコンの呼出スイッチを押す。

[浴室リモコン]

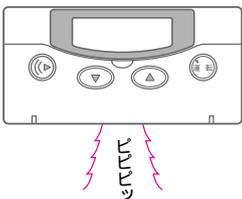


[増設リモコン]

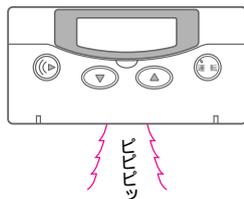


2 各リモコンで呼出音が鳴ります。

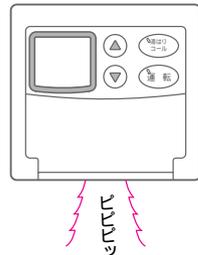
[浴室リモコン]



[増設リモコン]



[台所リモコン]



- 呼出スイッチを押すと各リモコンで同時に鳴ります。(押し続けている間鳴り続けます。また、手をはなした後も数秒間鳴り続けます。)
- 浴室から呼び出し音を鳴らすことができるので、シャンプーや石けんなどがなく困ったときも呼出スイッチを使うと便利です。

台所リモコンの音声を消している場合でも、呼び出し音は鳴ります。

凍結予防のしかた

冬期は暖かい地域でも配管内の水が凍結し、破損事故が起こることがあります。こうした事故を予防するために、次のような措置を行ってください。

機器凍結予防による方法(通常の寒さのとき)

気温が下がってくると自動的に凍結予防ヒーターが作動して機器内を保温します。

- 電源プラグが差し込まれていることを確認する。(パイプシャフト設置の場合は機器用屋内プレーカーが「入」になっていることを確認する。)



リモコンの運転スイッチ「入」「切」に関係なく、作動します。

給水、給湯配管、給水元栓などの凍結は予防できませんので必ず保温材や電気ヒーターを巻く措置をしてください。

外気温が-10℃よりも低いときは、この凍結予防ヒーターだけでは効果がありません。右記の「通水による方法」または、「機器内の水を抜く方法」を行ってください。

通水による方法(異常寒波などのとき)

- 1 浴そうのお湯を排水する。
- 2 リモコンの運転スイッチを「切」にする。



- 3 ガス栓を閉じる。



- 4 給湯栓より水を少量流す。(1分間に約400cc・・・太さ約4mm)



- 5 約30分後に再度流量を確認する。

給水、給湯配管、給水元栓などの凍結が予防できます。

もし凍結して水がでないとき

- 1 リモコンの運転スイッチを「切」にする。(リモコンがない場合は、電源プラグを抜く。)
- 2 ガス栓を閉じる。
- 3 給水元栓を閉じる。
- 4 給湯栓を全開にする。
- 5 少し気温が上がったら、ときどき給水元栓を開けて、給湯栓より水が出ることを確認する。
- 6 水が出るようになっても、機器や配管から水漏れがないかよく確認の上、使用する。

凍結したまま使うと機器に異常が生じる場合があります。凍結により、機器や配管が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

凍結予防のしかた

機器内の水を抜く方法（長期間使用しないときや異常寒波など）

⚠ 注意

- お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、機器が完全に冷えてから水抜きを行ってください。
やけどのおそれがあります。

- 1 電源プラグを抜く。（パイプシャフト設置の場合は、機器用屋内ブレーカーを「切」にする。）

電気が遮断されて困るような、電気器具と共有されている場合は、特に注意してください。

- 2 ガス栓を閉じる。

- 3 給水元栓を閉じる。

- 4 すべての給湯栓を全開にする。

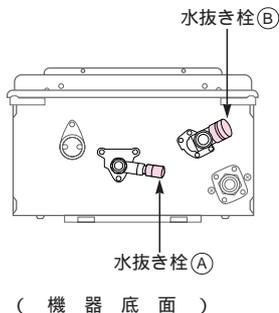
- 5 水抜き栓 ① ② を左に回して取り外す。

再び使用するまでそのままにしておく

給水、給湯配管、給水元栓などの凍結は予防できませんので、必ず保温材や電気ヒーターを巻く措置をしてください。
機器の水抜きをするときは、洗面器などの容器を準備してください。

再度使用する時

- 1 水抜き栓 ① ② をしっかりと取り付け。
- 2 給水元栓を開き給湯栓より水が出ることを確認する。
- 3 必ずすべての給湯栓を閉じてから11ページからの「使いかた」に従って使用してください。



点検・お手入れ

点検（月に1回程度）

| | 点検のしかた | 処置 |
|---------------------------------|--|--|
| 機 器 お よ び 周 辺 | <p>機器の周りや排気トップ・排気筒のそばに燃えやすいものを置いていませんか？</p> | 燃えやすいものを除いてください。 |
| | <p>運転中に機器から異常音や不快な臭いなどありませんか？</p> | <p>お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。</p> |
| | <p>機器の外観に異常がありませんか？</p> <p>排気トップおよび給気口にほこりや、変色したあとがありませんか？</p> | |
| | <p>機器や配管から、ガスの臭いはありませんか？</p> | |
| | <p>機器や配管から、水漏れはありませんか？</p> | |

定期点検のおすすめ

使用上、支障がない場合でも、安全により長く、使用していただくために2～3年に1回程度の定期点検をおすすめします。
詳しくは、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに相談してください。
この場合は有料となります。

点検・お手入れ

お手入れ（月に1回程度）

給水元栓・ガス栓を閉じ、電源プラグを抜き(パイプシャフト設置の場合は、機器用屋内ブレーカーを「切」にし)、機器が冷えてから行ってください。機器の前板を外したり、リモコンを分解しないでください。

お手入れのしかた

機器本体・リモコン

固くしぼった布で汚れをふきとってください。

ベンジンやシンナーなどは使わないでください。

機器およびリモコンの色、表示ステッカーの文字が消える原因になります。

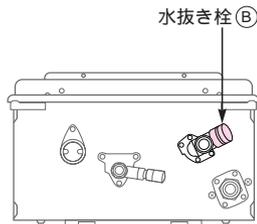
リモコンは故意に水や洗剤などをかけないでください。

リモコン内部の電気部品の故障の原因になります。



水フィルター

- 1 給水元栓を閉じる。
- 2 水抜き栓⑧を左に回してはずす。
- 3 水抜き栓⑧の水フィルターを水洗いして掃除する。



(機器底面)

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったらただちに使うのをやめて、まず次のことをお調べください。

| こんなとき | お調べいただくこと | 参照ページ |
|--------------------------------------|---|----------------------------|
| ● リモコンの運転ランプが点灯しない。 (時計表示が消えている。) | ● 停電していませんか？ ● 漏電安全装置が作動していませんか？ | 6 10 |
| ● 給湯栓を開けてもお湯にならない。(水のまま) | ● 停電していませんか？ ● 漏電安全装置が作動していませんか？ ● ガス栓が全開になっていますか？ ● 給湯栓・給水元栓が全開になっていますか？ | 6 10 11-12 11-12 |
| ● 給湯栓を開けても水が出ない。 | ● 断水していませんか？ ● 凍結していませんか？ ● 湯はり後、止水解除しましたか？ | 5 24-25 20 |
| ● 高温のお湯が出ない。 | ● 湯温調節は適切ですか？ ● ガス栓が全開になっていますか？ | 13-14 11-12 |
| ● 低温のお湯が出ない。 | ● 湯温調節は適切ですか？ ● 機器の水フィルターが詰まっていますか？ ● 給湯栓・給水元栓が全開になっていますか？ ● ソーラーシステムを使用していませんか？ | 13-14 27 11-12 14 |
| ● 使用中、湯温が極端に変動する。 | ● ガス栓が全開になっていますか？ ● 給湯栓・給水元栓が全開になっていますか？ | 11-12 11-12 |

リモコンに故障表示が点滅している場合でも、まず上表に従ってお調べください。お調べ後でも故障表示が点滅している場合は30ページの故障表示についての項を参照してください。

- 以上のことをお調べになっても、なお異常があるときやわからないときは、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。
不完全な処置は事故のもとになりますので、修理は絶対にお客さま自身でなさらないでください。

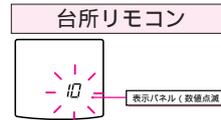
故障かな？と思ったら

次のような現象は故障ではありません。

| こんなとき | お答えします |
|--|---|
| ●給湯栓を絞ったら水になる。 | ●給湯栓からのお湯が1分間に約2.5ℓ/分以下になると消火します。 |
| ●給湯栓を開けてもすぐにお湯が出てこない。 | ●機器から給湯栓までの距離があるため、お湯が出てくるまでに少し時間がかかります。 |
| ●お湯が白く濁っている。 | ●白い濁りは、水中に溶け込んでいた空気が熱せられて、細かい泡となって出てくる現象です。 |
| ●低温のお湯が出ない。 | ●夏場などの水温が高いときやソーラシステムと接続したときは、低温のお湯を少量出そうとすると、お湯の温度が高くなります。給湯栓をもっと開けて湯量を増やすか水と混ぜて使用してください。 |
| ●運転を停止しても、しばらくの間、機器でファン音(ブーン)がする。 | ●再使用時の点火をより早くするために、しばらくの間ファンがまわる音です。 |
| ●時計表示が「0:00」になっている。 | ●停電など、一時的に電源が切れた後は、時計表示が「0:00」になります。給湯設定温度・湯はり設定温度も初期設定温度に戻りますので、再設定してください。 |
| ●給湯設定温度が40℃、湯はり設定温度が42℃にかわっている。 | |
| ●停電復帰後にお湯が出ない。 | ●お湯を使っている途中で停電が起きたときは、再度通電してもリモコンのスイッチが「切」になっているため、点火動作はしません。再度リモコンの運転スイッチを「入」にしてから使用してください。 |
| ●寒い日に排気トップから白い煙が出る。 | ●冬は、吐く息が白く見えるように、排気ガス中の水蒸気により白く見えます。 |
| ●給湯栓を閉じると機器の水抜き栓より水が、一時的にポタポタでることがある。(特に水圧が高い地域) | ●これは機器内の圧力が高くなり、過圧防止安全装置(P10)が作動して水が出る現象で異常ではありません。このようなときは床面をぬらしますので、不都合が生じるときは排水処理が必要です。お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに相談してください。 |
| ●機器の音が高い | ●水圧が高い地域では機器の通水音が高くなる場合があります。 |

故障表示をお調べください。

- 機器に不具合が生じると、リモコン表示画面の時刻表示部が下記のように2けたの数字を表示し、点滅します。



| 画面表示 | 内容 | 処置方法 |
|----------|-----------------|---|
| 10 | 燃烧ファン系統の不具合の警告 | 運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして再操作をして、表示が出なければ正常です。 |
| 11 | バーナー点火せず | |
| 12 | バーナー途中消火 | |
| 14 | 安全装置の作動 | |
| 16・30 | 給湯温度制御系統の不具合 | |
| 31 | 給湯温度測定装置の不具合 | |
| 32 | 給水温度測定装置の不具合 | |
| 35 | ミキシング温度測定装置の不具合 | |
| 51 | ガス電磁弁系統の不具合 | |
| 61 | 燃烧ファン回転数の不具合 | |
| 65 | 水量制御装置の不具合 | |
| 70・71 | 電装系統の不具合 | |
| 72 | 炎検出系統の不具合 | |
| 73 | マイコン初期チェックの不具合 | |
| 74・75・76 | リモコン系統の不具合 | |
| 99 | 燃烧ファン系統の不具合 | |

- 処置後も故障表示をくり返すときは、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。
- 特に「10」を表示しているときは、お湯を使用することはできませんが、十分な給湯能力が出ない状態ですので、気が付いたらすぐにお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。

アフターサービス

サービスのお申し込み

- 28～30ページの「故障かな?と思ったら」を見てもう一度確認してください。
- 確認のうえ、それでも不都合な場合、あるいは不明な点がある場合は、ご自分で修理しないで買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。
なお、連絡されるときは、下記のことをお知らせください。

- 品名 ガス給湯器
- 大阪ガス商品コード 例 **(N) 34-725 (U)**
(機器前面中下に貼付の銘板に記載してあります) 大阪ガス株式会社
- 故障または異常の内容(できるだけ詳しく)
- ご住所・お名前・電話番号・道順(できるだけ詳しく)

転居される場合

ガスには都市ガス(数種類)およびLPガスの区分があります。

- ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので転居先のガスの種類をご確認のうえ、お買い求めの販売店または、転居先のガス事業者に連絡してください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間中でも有料となります。
- ガスの種類によっては調整・改造できない場合もあります。

保証、補修について

- 保証書に記載されているように機器の故障については、一定期間・一定条件のもとに修理いたします。保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 無料修理期間経過後の修理については、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに相談してください。

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

この製品の修理用性能部品《機能を維持するための必要な部品》の最低保有期限は、製造打ち切り後10年間です。

但し、最低保有期間経過後であっても修理用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。

仕様

| 品名 | | ガス給湯器(瞬間先止め式) | | | | |
|--------|---------|---|--|--|--|--|
| 商品コード | | 34-725型 | 34-726型 | 34-727型 | 34-728型 | 34-729型 |
| 型式 | | YS1637RR | | | | |
| 種類 | 給(出)湯方式 | 先止め式 | | | | |
| | 給排気方式 | 屋外式 | | | | |
| 点火方式 | | 連続スパーク・ダイレクト着火 | | | | |
| 最低作動水量 | | 2.5ℓ/分 [作動水圧 9.81kPa { 0.1kgf/cm ² }] | | | | |
| 排気温度 | | 260℃以下 | | | | |
| 外形寸法 | | (高さ)600mm×(幅)350mm×(奥行)160mm | | | | |
| 質量 | 量(本体) | 18kg | | 19kg | | |
| | 給水 | 15A (R1/2) | | | | |
| 接続 | 給湯 | 15A (R1/2) | | | | |
| | ガス | 15A (R1/2) | | | | |
| | 電気 | C31(電線管ねじ) | | | | |
| 電気 | 使用電源 | AC100V 60Hz | | | | |
| | 消費電力 | 13A : 52W LP : 55W | 13A : 76W LP : 76W | 13A : 75W LP : 78W | 13A : 76W LP : 76W | |
| | 待機消費電力 | 7W | | | | |
| | 凍結予防運転時 | 122W | | | | |
| | 安全装置 | 立消え安全装置(フレームロッド方式) 水量センサー・過熱防止装置・残火安全装置 過昇温安全装置・過圧防止装置・漏電安全装置(漏電遮断器) 凍結予防装置(水抜き栓、凍結予防ヒーター) | | | | |
| 付属品 | | 34-725型 | 34-726型 | 34-727型 | 34-728型 | 34-729型 |
| | | 木ねじセット 取扱説明書 工事説明書 保証書 台所リモコン お問い合わせ先一覧表 フレキシブル管セット | PS取付ねじセット 取扱説明書 工事説明書 保証書 台所リモコン お問い合わせ先一覧表 Oリング | PS取付ねじセット 取扱説明書 工事説明書 保証書 台所リモコン お問い合わせ先一覧表 Oリング | PS取付ねじセット 取扱説明書 工事説明書 保証書 台所リモコン お問い合わせ先一覧表 Oリング 排気トップ(S) | PS取付ねじセット 取扱説明書 工事説明書 保証書 台所リモコン お問い合わせ先一覧表 Oリング |
| 別売部品 | | ●浴室リモコン ●増設リモコン ●リモコンコード ●配管カバー ●据置台 ●排気カバー ●扉内設置用取付ボックス | | | | |

| ガスの種類 および グループ | 1時間当りの ガス消費量 kW | 出湯能力ℓ/分 (ガス消費量最大時) | | ガス接続 | |
|----------------------|-----------------------|-----------------------|------|------|------------|
| | | 最大 | 上昇温度 | | |
| 都市ガス | 13 A | 34.9 { 30.00kcal/h } | 25℃ | 40℃ | 15A (R1/2) |
| L P ガス | | 34.9 { 2.50kg/h } | 16.0 | 10.0 | |
| | | | 16.0 | 10.0 | |

備考 ● 出湯能力は給水圧力98.1kPa { 1kgf/cm² } のとき。
● ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力のとき。